

田原市保育園、児童クラブICTシステム導入及び運用保守業務 公募型プロポーザルプレゼンテーション審査結果

田原市保育園、児童クラブICTシステム導入及び運用保守業務公募型プロポーザル選定委員会において、プレゼンテーション審査によりヒアリングと企画提案書の審査を行った結果、下記のとおり優先交渉権者を決定しました。

1 優先交渉権者

(1) 名称

NTTビジネスソリューションズ株式会社

(2) 評価ポイント

提出された提案書類の内容は、本業務の内容を理解し、仕様書に示した条件を満たしたうえで、これまでの他市町村への導入実績等を生かした提案がなされていた。

特に、提案されたシステムは、保育士の声を基に開発されたシステム仕様となっており、保育等の現場でどのように活用し、どのような効果が得られるかなど、保育士、保護者視点の提案がなされた。

また、システム運用にあたって保育士や保護者へのサポートや保守管理など、充実した運用支援体制や他の自治体等の活用事例や意見交換会を行うなど、効果的な運用に向けた提案がなされたと評価された。

2 審査結果

評価項目	評価内容	評価配点	合計	
1. 基本事項	①基本的な考え方	事業内容及び目的に関する理解・知識が十分にあるか。	50点 (5点×10人)	38点
		提案された内容が、保護者の利便性向上、保育サービスの質の向上及び業務の効率化が図られるものであるか。		
	②スケジュール	実現可能な工程、作業内容及び支援内容が明確に示されているか。また、妥当な工程となっているか。	50点 (5点×10人)	34点
	③業務実績	本業務と同種・類似の業務の経験・実績が十分にあるか。	50点 (5点×10人)	43点
小計		150点	115点	
2. システム	①操作性	システム管理者（所管課）、業務管理者（園長・児童クラブ主任指導員）、業務担当者（業務管理者以外の職員）、利用者（保護者）のいずれにとっても各メニューが見やすく、メインメニューのアイコンから各機能を全て呼び出せるか。	100点 (10点×10人)	74点
		操作処理は、遅滞なくスムーズに行えるか。		
	②アカウント管理	職員アカウントの登録、変更、更新は外部データの一括取り込みなどで効率的に実施できるか。	50点 (5点×10人)	37点
		園児・児童アカウントは、必要な情報を登録でき、年度切り替えの一括処理や途中入退園などの処理をスムーズにできるか。		
	③保護者アプリ	保護者が専用のアプリケーション（以下「保護者アプリ」）を用いて各種情報連絡が行える仕様となっているか。	100点 (10点×10人)	78点
		保護者、業務管理者、業務担当者にとって利用しやすいアプリケーションのデザインとなっているか。		
		保護者アプリは、兄弟姉妹複数名分をまとめて登録・操作が可能か。兄弟姉妹が別施設に通っている場合、単一アカウントで操作できるか。		
	④登降園・入退室	登降園・入退室の打刻作業で人が滞留することないよう工夫されているか。	100点 (10点×10人)	78点
		QRコードをかざすことで登降園・入退室時間の打刻が行えるか。また、補完的な対応としてタッチ操作での打刻も行えること（ICカードは不可とする）。		
		兄弟等複数人をまとめて打刻することができるか。 打刻された園児・児童名、時刻が記載されたプッシュ通知が保護者アプリに送られるか。		
⑤帳票	保育計画、保育記録、児童票、保育要録などの作成は、紙や汎用的な文書作成ソフトよりスムーズに行え、出力できるか。	50点 (5点×10人)	32点	
	帳票に関し、仕様書記載以外の機能で、効果的な機能の提案があるか。			
⑥発達・健康の記録	記録は定期的（日次・月次）に入力できるか。	50点 (5点×10人)	34点	
	午睡記録は、クラス毎に園児の向き（左向き、仰向け、右向き、うつ伏せ直し、起床）とその確認者を最短5分間隔で記録できるか。			
	各記録の入力にあたり、記録しやすい工夫がされているか。			
⑦シフト作成・管理	シフト作成は、田原市独自の配置基準を適用できるなど、今後の国基準の変更等にも対応し、任意の配置基準設定ができるか。	100点 (10点×10人)	64点	
	シフトは、延長保育時の合同クラスなど、通常クラス以外の担当区分を設定することができるか。			
	シフト作成・管理に関し、仕様書記載以外の機能で、効果的な機能の提案があるか。			
⑧導入支援	利用マニュアルや操作説明会など導入に当たっての支援体制は整っているか。	100点 (10点×10人)	78点	
	従来の業務からスムーズに移行できるような支援体制はあるか。 導入後の問い合わせ等に迅速に対応できる支援体制であるか。			
⑨拡張性について	業務の効率化や保育の質を高められるよう、今後の拡張性について、効果的な仕組みの提案があるか。	50点 (5点×10人)	35点	
小計		700点	510点	

3. 操作端末	①機器等	システムの各機能を操作するのに適した端末・関連機器等が提案されているか。	50点 (5点×10人)	33点
	②セキュリティ	ウイルス対策やMDM (モバイルデバイス管理) やMAM (モバイルアプリケーション管理) で、端末やアプリの挙動をシステム管理者又は保守委託業者等で遠隔制御することができるか。	50点 (5点×10人)	32点
小計			100点	65点
4. ネット ワーク環境	①安定稼働性	操作端末のOSアップデートやシステム稼働時間内の利用は安定的に見込めるか。	50点 (5点×10人)	31点
	②配置	保育室及び事務室で良好なネットワーク接続が可能な環境を構築できるか。	50点 (5点×10人)	31点
小計			100点	62点
5. 総合力	①業務体制	本業務に対する積極性はあるか。	50点 (5点×10人)	36点
		本業務を円滑に遂行できるような体制 (有識者・経験者の配置等) であるか。		
障害の発生原因 (システム・端末・ネットワーク) に関わらず、サポート窓口が一括化されている等円滑なサポート体制が取られているか。				
	②見積額	見積額は提案上限額の範囲内で、かつ低額であるか	100点 (10点×10人)	100点
小計			150点	136点
合計			1,200点	888点

3 選定委員会の構成

選定委員会の委員選定にあたっては、業務に関連する部署の職員を選定した。なお、第三者委員には、保育士等の育成に携わっている大学から有識者として選出した。

氏 名		所 属	選定理由
1	木村 由紀子	こども健康部長	本業務所管の管理者として
2	増田 直道	教育部長	本業務所管の管理者として
3	河合 義弘	子育て支援課長	本業務所管の課長として
4	眞木 淑子	子育て支援課 保育士長	本業務所管の保育士長として
5	藤井 透	生涯学習課長	本業務所管の課長として
6	仲谷 和也	企画課長	企画所管の課長として
7	松井 茂明	財政課長	財政所管の課長として
8	北山 智砂	稲場保育園園長	保育士の代表として
9	浅利 貴子	中部児童クラブ指導員	児童クラブ指導員の代表として
10	渡部 努	岡崎女子短期大学 幼児教育学科講師	教育・保育に関する有識者として